

# 中央公民館だより

平成 29 年 4 月 1 日発行

三原市中央公民館

三原市円一町 2 丁目 3 番 1 号

TEL 0848-64-2137 FAX 64-0137

## 1 年間の生涯学習の集大成

### 平成 28 年度 三原市中央公民館作品展示・学習発表会閉幕

中央公民館では、1 年間の学習成果を披露・交流する作品展示・学習発表会を毎年度末に開催しています。平成 28 年度は、去る 3 月 4 日（土）～ 5 日（日）に実施しました。

作品展示の部 31、舞台発表の部 16 の各参加団体による趣向を凝らした多彩な発表がありました。どの団体も実に奇抜なアイデアや日頃から積み上げられた熟練の技を作品展示や舞台発表を通して惜しみなく披露していただきました。ご関係の皆様へ深く感謝いたします。併せて、2 日間にわたり当館にお運びくださり、熱心にご観覧くださいました市民の皆様へ厚くお礼申し上げます。

本年度の舞台発表は、2 日間に分けて実施しました。1 日目の午後を人形劇、2 日目の午前を従来通り語学、音楽、舞踊等の発表にあてました。当館主催「人形劇創造」講座の演目『浮城ものがたり』は、三原築城 450 年を機に創作されたもので、今後各所で上演される予定です。ご期待ください。



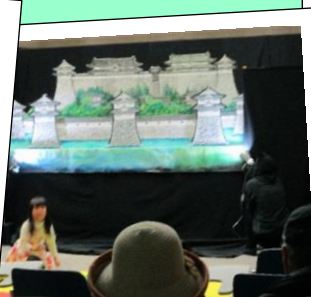
大講堂展示風景



初のイーゼルでの絵画展示



「へえ～なるほど」のハンゲル講座



人形劇「浮城ものがたり」

## 小さな合唱隊の大きな癒し!!

### 三原版“天使の歌声” 三原少年少女合唱団員募集

中央公民館の学習発表会のみならず、市民音楽祭等様々なイベントに出演し、健気に高く澄み切った歌声を会場に響かせ、聴衆を魅了する子どもたちの合唱団があります。

三原少年少女合唱団。設立は、平成 8 年 4 月、中央公民館の主催講座から立ち上がりました。市内の小学生を中心に構成されていますが、人数の関係で中学生、保護者有志も参加して歌っています。人に喜ばれることが何よりの励み、活動の原動力です。毎週土曜日に中央公民館で練習し、依頼があれば介護施設等を訪問して日頃の練習の成果を披露します。

先の学習発表会では、①歌のつばさ、②翼をください、③一人の手、④ビリーブ、⑤旅立ちの時…子どもたちにとって馴染みのある全 5 曲を合唱しました。勇気付けられる歌詞を伴う選曲もさることながら、すがすがしく染み透る声遣いで、集った人々の心をうっとりとした和ませました。

合唱団の悩みは、団員数の減少。この春 5 名が中学生となり、小学生は 3 名となってしまいました。小学生の団員を募集しています。あなたも…家庭的な温かい雰囲気の中で、仲間とともに声を響き合わせる楽しさを味わってみませんか？活動の様子は、ホームページでも紹介しています。（問い合わせは、中央公民館へ）



# ようこそ！絵本のくにへ！

読み語りボランティアグループの共演

去る3月18日(土)三原市中央図書館主催の読み語りのイベントがありました。多くの家族で賑わいました。三原市には多くの読み語りグループや個人読み語りの方々が活動されています。活動場所はそれぞれグループ・個人によって違い、市内の図書館・幼稚園・保育所・小学校・中学校等50カ所以上で活動されています。

今回、「ようこそ！絵本のくにへ！」=読み語りボランティアグループの共演=と題して、4つの活動グループがそれぞれの手法を凝らした読み語りの90分のイベントを実施しました。

## 【虹の会】

手話通訳が付いた読み語りでした。オノパトペ(擬音や擬態語)を表現した読み語りが印象的でした。

発足は1983年と古く読み語りの場が温かく居心地のよい時間と空間になるよう、また楽しさを一緒に分かち合える身近な読み手として日々頑張っていますとおっしゃっていました。

## 【すみれ文庫】

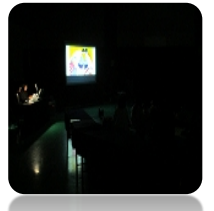
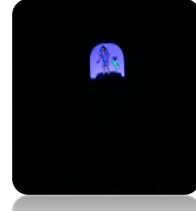
大型絵本の読み語りでした。最後のくじらが出てくるシーンは全長5mほどのくじらが登場し、皆びっくりしました。モットーにされていることは、地域のおばちゃんという親しみをもって、子どもたちに語りかけるようにされていることです。

## 【ねむの木】

ブラックライトを使いソメコとオコを演じられました。読み語るという奥の深さを感じました。ブラックライトシアターは蛍光で光る仕掛けになった絵にブラックライトを当て場面が美しく浮かびあがるようになっています。読み語るというより、一つのお芝居を観せていただいた感じでした。本から夢や希望につながる楽しさを感じとってもらえるように日々活動されておられるそうです。

## 【アリスの会】

久井の民話「中野の出雲石」を語られました。紙芝居に仕立てておられ、平素は生声の届く小さな部屋でじっくりと民話を聞いてもらうようにされているそうです。今回の会場が広く多くの方々の前での語りでしたので、紙芝居をプロジェクターで投影しました。民話の持つ独特な雰囲気は失われず、台詞が心にしみました。出雲から母を天秤棒に乗せ、久井まで連れ帰った孝行息子の話です。そのとき天秤棒の片方に乗せバランスをとりながら連れ帰った出雲石が実際に久井にあるそうです。民話の魅力を感じました。



## 編集後記

新年度がスタートしました。また一年がめぐりスタートできることに心も弾みます。

桜前線もどんどん北上し、花々は咲き誇り、緑萌ゆる季節の到来です。春の山の野草、海の家草も芽吹いてきます。つくし・ふきのとう・たらの芽・たけのこ・ぜんまい・うど・ふき・せり・ごごみ等、あくや苦味のある物を食し、一年の身体のさびを落として新陳代謝を上げまた一年元気に暮らす昔からの知恵が受け継がれています。野草鍋もおすすめです。新ワカメもさっと茹で上げるだけで、おさしみでいただくとも美味しく。三原は山も海も近く、山の幸、海の幸に恵まれ旬のものを食せる環境に感謝です。旬のものが持つ力が一番エネルギーをくれると感じます。

体験講座もバラエティーにとんだあらゆる角度の旬の企画をと思っています。

本年度も多くのご参加をお願いします。どうぞよろしくお願いいたします。

